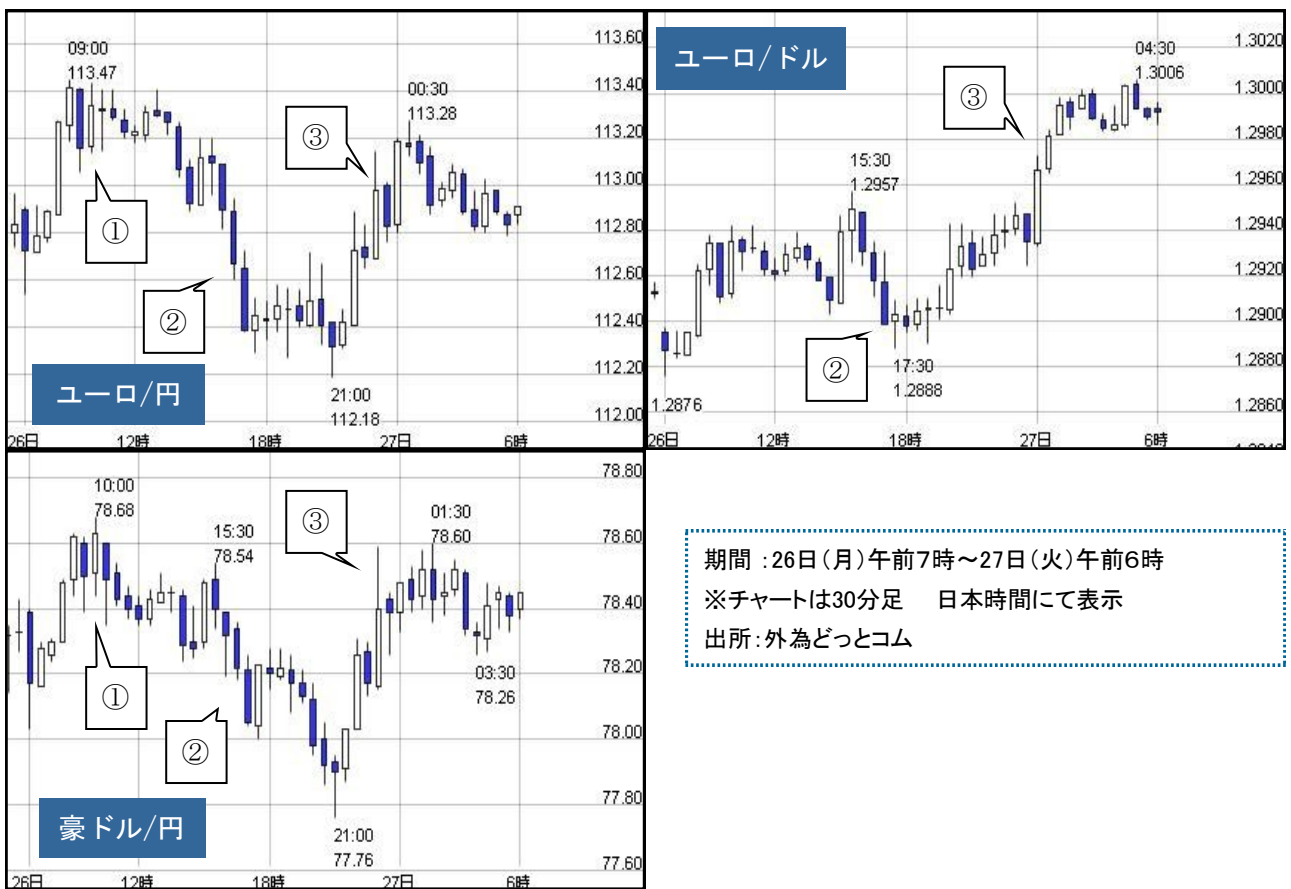


7月27日(火曜日)  
ユーロ/円  
ユーロ/ドル  
豪ドル/円

## ユーロ/ドル 1.30 の攻防

### 26日(月)の主な推移



期間 : 26日(月)午前7時~27日(火)午前6時  
※チャートは30分足 日本時間にて表示  
出所 : 外為どっとコム

- ① 先週23日に発表された欧州金融機関に対するストレステストの結果が無難なものとなった安心感から日経平均株価が上昇して始まると、リスクに対する警戒感が薄れユーロや豪ドルを買ってドルや円を売る動きが強まった。ただ、10時30分に発表された豪第2四半期生産者物価指数が前年比+1.0%と予想を下回った事で8月の利上げ観測がやや後退し豪ドル/円は下落に転じた。
- ② しっかりと始まった欧州株が小幅ながら下げに転じた事や、時間外のNYダウ先物が下げに転じると、リスク回避ムードが強まり、ユーロや豪ドルは下落した。さらにその後、ドル/円が87円を割り込んで下落した事につれてクロス円も下落し、ユーロ/円は112.18円、豪ドル/円は77.76円の安値を付けた。
- ③ 23時に発表された米6月新築住宅販売件数が33.0万件と予想を上回り、前月比で増加に転じた事などを背景に米景気の先行き不安が和らぎNYダウ平均株価が10500ドル台に上昇すると、積極的にリスクを取る機運が高まり、ユーロや豪ドルを買う動きが強まった。ユーロ/ドルは1.3006ドルの高値を付けたが、全般的なドル売りの流れを受けてドル/円が伸び悩んだ事でクロス円の上昇は限定的であった。

### ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスクの緩和(ユーロ上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスク(ユーロ下落要因)

### 豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

### 本日の見通し

#### 本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.2850-1.3080ドル  
ユーロ/円 : 111.80-113.50円

#### 本日の予想レンジ

豪ドル/円: 77.20-78.80円

昨日の海外市場では、米国の経済指標の好転を受けてNY株高が進み、ドルが全面安の展開となった。先日のバーナンキ米連邦準備制度理事会(FRB)議長の議会証言での発言などを受けて低金利の長期化観測が強まっている事がドル売り圧力につながっている。引き続きドル安が進みやすい地合いにあると見られるが、ユーロ/ドルは節目の1.30ドル付近では上値が重くなっており、このラインを明確に上抜けられるかどうか注目される。また欧州ではドイツ銀、UBSの決算発表が予定されている。欧州金融機関に対する懸念はストレステストの結果を受けて一服しているだけに決算発表への注目度は高い。(神田)

全般的なドル売りの流れを受けて、豪ドル/米ドル相場は5月13日以来約2ヵ月半ぶりに0.90ドル台に上昇している。ただ、米ドルは対円でも下落傾向にある事から豪ドル/円は78円台にとどまっておろ、月初来高値すら更新出来ない状態となっている。主要国の株高などを受けて、リスクを積極的に取る動きが強まる場面でも、ドルが全面安となりやすい地合いが続きそうで、豪ドル/円はやや上値が重くなりそうだ。(神田)

### 本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
7/27(火)	22:00		(米) 5月S & P/ケース・シラー住宅価格指数 [前年比]	+3.81%	+3.85%
	23:00		(米) 7月リッチモンド連銀製造業指数	23	12
	23:00	○	(米) 7月消費者信頼感指数	52.9	51.0
	26:00		(米) 2年国債入札(380億ドル)	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。